



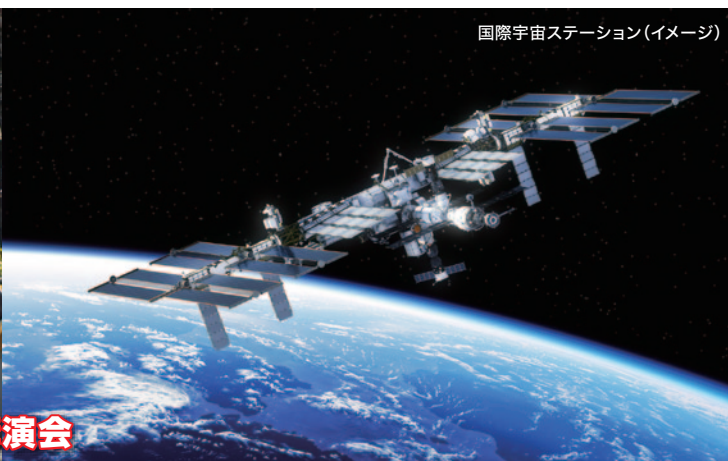
**INNOVATOR'S
GARAGE**

Garage Nagoya Topics

ナゴヤ イノベーターズ ガレージの活動やイベント、そこで活躍する人々を紹介するコーナーです。



国際宇宙ステーション(イメージ)



演題「小さな宇宙ベンチャーが起こしたキセキ ～文系・ド素人による新産業への挑戦～」

参加者:会場 約20名 オンライン 約90名

【講師】Space BD(株) 代表取締役社長 永崎 将利 氏

プロフィール／早稲田大学教育学部卒業後、三井物産(株)で人事、鉄鋼貿易、鉄鉱石資源開発に従事。2013年に独立し、翌2014年、ナガサキ・アンド・カンパニー(株)を設立。主に教育事業を手掛ける。その後、2017年にSpace BD(株)を設立し、宇宙商業利用のリーディングカンパニーとして宇宙の基幹産業化に挑んでいる。



【講演要旨】

1. 宇宙ビジネスにイノベーションを

日本初の宇宙商社[®]であるSpace BD(株)は、衛星打ち上げに代表される宇宙輸送では世界でトップ10に入る実績を持ち、JAXAの民間パートナーとして多岐にわたる案件を獲得している。

宇宙産業に将来性があると確信したのは、創業前に有識者の意見を聞き回った際、人によって回答が大きく異なったからである。宇宙にはまだ「答え」が見つからないと考え、そこにチャンスがあると感じ、宇宙ビジネスの期待値が低い頃に素人同然で飛び込んだ。

2. フロントランナーを駆け

どの分野であっても、「これは勝てそうだ」と確信してから参入したのでは、既に同じ考えの競合が存在し、ビジネスの最前列に出ることは難しい。ビジネス成功要素の一つとして、先駆者となり第一線に並び続けることだと私は考えている。第一線にいれば圧倒的に情報が集まりやすく、顧客のリスクやコストを最小化したり、利益に貢献したりできるからである。

そして、他者に先駆けてビジネスの勝ち筋を見極め

成長させるには、これまでにない発想が求められる。斬新すぎて周りの理解が追いつかない事案に対し、時には直観に従って非合理的な選択をする勇気がリーダーには必要である。

3. 重要なのは、何をしたいかよりどう生きたいか

重要なのは、その型破りな決定に大義があるかどうかである。社会にどう作用できるか、どう生きたいかが明確であれば、道は拓ける。私は、日本の飛躍のためには宇宙産業の発展が不可欠だと信じ、宇宙ビジネスの敷居を下げて、人類の平和に役立つよう、宇宙産業の裾野開拓に貢献したいと考えている。

宇宙というのは、夢や希望を想起させる不思議な魅力がある。熱い想いやチャレンジについて語りにくい今の日本には、宇宙ビジネスのもたらすワクワク・ドキドキが価値につながると考えている。日本発で世界を代表する産業と会社を目指し、これからも挑戦を続けたい。



『小さな宇宙ベンチャーが起こしたキセキ』
永崎 将利/著
アスコム(2020年10月)



ナゴヤ イノベーターズ ガレージは名古屋市と共同で、高校生が現役の起業家たちと出会い、語り合う場「TEENS meetup -未来のスタートアップ-」を開催。第一線で活躍中のスタートアップ経営者や起業家たちが、未来を担う高校生と起業という生き方のリアルを語り合った。

開催概要

将来起業を志す人だけでなく、進路を決めていない高校生にも将来の生き方を考えるきっかけにしてもらうことを目的に、4名の起業家を招いて、第一部に講演会、第二部にパネルディスカッションを開催。155名が参加した（会場：42名〈うち高校生21名〉、オンライン：113名〈高校生他〉）。講演会では、講師が現在の事業内容や、中高生時代の経験から今につながっていること、起業のきっかけなどを紹介。パネルディスカッションでは、起業のメリット・デメリットについてパネリストが本音で語り、高校生からの率直な質問に対して真摯に答えていた。

講師・パネリスト

藤野 英人 氏	レオス・キャピタルワークス(株) 代表取締役会長兼社長最高投資責任者(CIO)
南 章行 氏	(株)ココナラ 代表取締役会長
遠山 寛治 氏	(株)Sonoligo 代表取締役
nanakoななこ 氏	動画クリエイター／クリエイティブディレクター

モデレーター

安田 孝美 氏	名古屋大学大学院 情報学研究科／情報学部 教授
---------	-------------------------

第一部 講演会：自己紹介&起業のきっかけ



「将来起業をしたい人」との問いかけに会場にいた約半数の高校生が手をあげ、うち3名は上場したいと答えた。

旭丘高校出身の藤野氏は高校時代の「制服問題闘争委員」委員長を務め、同じく同校出身の南氏は文化祭で気球を飛ばした経験を語った。中学からはじめたサックスで音楽家の大変さを体感した遠山氏は現在の事業がその課題を解決している。nanakoななこ氏は自分の好きなことを継続してきたことが現在の活動につながっていると語った。全員に共通しているのが、「好きなことをとことんやろう」というマインドである。

第二部 パネルディスカッション： “起業”という生き方を語ろう

現在と未来の情報として、安田氏が日本の時価総額推移や世界の有名企業の経営者の創業時年齢、人生100年時代などを紹介した後、登壇者が高校生に以下の熱いメッセージを送った。

藤野氏：挑戦は“成功か失敗”ではなく、“成功か学び”であり、自分の好きなことを見つけて何度でも挑戦すること。

南氏：事業を通じて人を幸せにしていると感じている。チャレンジしないことがリスクである。

遠山氏：周りの目を気にせず自分の思ったことを貫いてほしい。

nanakoななこ氏：好きなことを仕事にするためには嫌なことを我慢するのではなく、苦手なことにも挑戦する。

高校生からは、「父の会社を継ぐべきか、それとも起業すべきか」「人生で一番後悔したことは」などの質問が寄せられた。



**2021.7.14 Wed.
CENT Pitch 拡大版 vol.1**

CENT Pitch(Central Japan Open Innovation Pitch:中部圏オープンイノベーションピッチ)は、中部圏のオープンイノベーションおよびスタートアップ・エコシステムの形成を目的としたピッチイベントで、名古屋大学オープンイノベーション拠点(OICX)とナゴヤ イノベーターズ ガレージが主催し毎月開催している。今回は、Plug and Play Japan(株)と共同で、大学発スタートアップを全国から招き、特別企画「CENT Pitch 拡大版」として開催。ナゴヤ イノベーターズ ガレージの会場とオンラインをあわせて約250名が参加した。

【開催概要】

1. 開会挨拶およびピッチの見方講座

主催者を代表して、名古屋大学イノベーション戦略室の田中裕章特任教授ならびにPlug and Play Japan(株)の江原伸悟Mobility Directorが開会挨拶を行った。



その後、Plug and Play Japan(株)によるピッチの見方講座を開催。ピッチイベント初参加の方や、何度も参加しているが着目点がわからないという方に対し、ポイントや質問すべき内容などをレクチャーした。

2. Startup Pitch

今回の拡大版ピッチは、スタートアップのサポート企業として有名なPlug and Play Japan(株)が主催し、名古屋をはじめとする中部圏のオープンイノベーションを促進するプロジェクト「Nagoya Access Point Project (NAPP)」の一環として、日本全国より大学発スタート

アップ6社が登壇した。登壇者および各社のアピールポイントは以下のとおり。

1社目 名古屋大学発スタートアップ

(株)U-MAP
西谷健治代表取締役CEO

アピールポイント

スマートフォンや電気自動車、データセンターなど、電子機器が抱える大きな課題「熱問題」を、新たな素材で解決。

<<https://umap-corp.com/>>



2社目 岐阜大学発スタートアップ

FiberCraze
長曽我部(ちょうそかべ)竣也代表

アピールポイント

ナノテクノロジーで防虫機能を強化した衣類など、新しい繊維を開発。

<<https://fibercraze.com/>>



3社目 京都大学発スタートアップ

(株)データグリッド 岡田侑貴代表取締役CEO

アピールポイント

生成AIの強みを生かして、デジタルヒューマン、シミュレーション、セキュリティなど、新たなマーケットを創出するサービスを提供。
<<https://datagrid.co.jp/>>



4社目 北海道大学発スタートアップ

ティ・アイ・エル(株) 藤浪慧CEO

アピールポイント

IoTテクノロジー、音声言語認識技術を用いて、次世代の生活者体験を創造。
<<https://tilab.jp/>>



5社目 東京大学発スタートアップ

scheme verge(株) 嶂南(やまなみ)達貴代表

アピールポイント

「都市を再発明する」を目標に活動するアーバンエンジニアリング企業として、新しい時代における都市体験を提案。
<<https://www.schemeverge.com/>>



6社目 名古屋大学発スタートアップ

(株)TOWING 西田宏平代表取締役

アピールポイント

植物の育成を助ける高機能ソイルによって、地球農業の発展と宇宙農業の実現を目指す。
<<https://towing.co.jp/>>



各社のプレゼンテーション終了ごとに、ナゴヤ イノベーターズ ガレージのメンターをはじめとしたコメンテーターから、質問やアドバイスの時間を設け、今後の企業活動の参考にしていただいた。お招きしたコメンテーターは以下の4名。

- ・リアルテックホールディングス(株)
木下太郎グロースマネージャー
- ・Plug and Play Japan(株)
小林俊平Mobility/Smart Cities Venture Associate
- ・(株)サムライインキュベート
平田拓己マネージャー
- ・(株)MTG Ventures
藤田豪代表取締役

3. Startup Interview

イベントの後半はStartup Interviewと題し、名古屋大学の田中特任教授とPlug and Play Japan(株)の江原Mobility Directorをモデレーターに、ピッチを行った6名が登壇してパネルディスカッションを実施した。起業のきっかけや創業時の苦労話、事業に対する想い、将来の可能性や今後の展望など、ピッチではなかなか聞くことができない話題が繰り広げられ、多くの参加者が関心を寄せていた。



4. おわりに

今回のイベントをきっかけに、ピッチを行った6社と参加者がさらなる交流を深め、ビジネスマッチングにつながることを期待する。

ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは、こうしたイベントの開催を通じて、スタートアップ企業、事業会社とのビジネスマッチングの機会を創出し、中部圏の経済発展を目標に活動が続けていく。



デジタル時代の価値観を考えるリベラル・アーツ講座 第3クール

大人の学びなおし

参加者
募集中

ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは、リベラルアーツ講座「大人の学びなおし」を開催しています。2020年11月～2021年3月に開催した第2クール(領域:文学、歴史、芸術、宗教、哲学、宇宙、地球生物学、倫理)では、「ネット検索の時代に豊かな知識を持つことにどのような意味があるのか」「人類の歴史よりはるかに長い地球生命史から学べる企業活動に生かすことができる知恵とは」「人はなぜ日記を残すのか」「人類にとって移動とはどのような価値を持つのか」「外部に記憶することが容易になったデジタル時代。我々は何を記憶すべきか」「未来に残したい社会のつくり方とは」など、講義の中で出された本質的な問いに、さまざまな視点や角度から議論されました。2021年11月10日からスタートする第3クールでは、新たに「**数学**」の領域を加え、2022年3月23日まで全10回の講座を開催します。中経連会員の皆様は会員価格にて受講可能です。皆様の参加をお待ちしています。



開催概要

開催時期 **2021年11月10日(水)～2022年3月23日(水)**

時間 **18時30分～20時30分**

会場 **ナゴヤ イノベーターズ ガレージ** (オンラインでの参加も可能です)

定員 **50名** (応募者多数の場合は先着順となりますのでお早めにお申し込み下さい)

参加費用 ナゴヤ イノベーターズ ガレージ会員:10,000円(全10回) 中経連会員:10,000円(全10回)
一般参加:30,000円(全10回)

領域・テーマ

11.10(水)
数学 確率と予測～数学は役に立ちますか?～
大平 徹 氏 名古屋大学 教授

11.24(水)
芸術(絵画) 時代を変革したアーティスト達
～エポックメイキング的な作品の価値とは?～
白河 宗利 氏 愛知県立芸術大学 准教授

12.8(水)
哲学・科学哲学 「概念工学」として哲学を捉え直す
戸田山 和久 氏 名古屋大学 教授

12.20(月)
文学 江戸川乱歩から読み取る東海圏の文化
小松 史生子 氏 金城学院大学 教授

1.12(水)
地球生物学 攻めるばかりが正解ではない!
～共存共栄で得する生存戦略～
大路 樹生 氏 名古屋大学 教授

1.26(水)
歴史(古代史) 日本古代のマイナンバー制度～戸籍と計帳～
丸山 裕美子 氏 愛知県立大学 教授

2.9(水)
芸術(音楽) ピアノの近代史～技術革新、世界市場、日本の発展～
井上 さつき 氏 愛知県立芸術大学 教授

2.22(火)
デジタル時代の哲学 フィクションの中のロボット
久木田 水生 氏 名古屋大学 准教授

3.9(水)
哲学・倫理 アフターコロナの市民社会の行方
江口 建 氏 豊田工業大学 教授

3.23(水)
宗教 現代日本社会における死生観を改めて考える
～人口減少社会・無葬社会・無縁社会～
佐藤 啓介 氏 上智大学 教授

【詳細・申込】 右のQRコードからWebにアクセスの上、お申し込み下さい 締切:2021.11.1

